学校だより　　平成３０年６月２６日（火）

明るく　元気に　前向きに

第５号　　いわき市立平第一小学校（文責　校長　伊達多津也）

６年生の陸上大会が終了しました。５年生から体力づくりをはじめ、日焼けの跡からも子ども達が大会へ向けて努力してきたことがくっきりと伝わってきます。６年生を応援する下級生のメッセージが続々と６年生に向けられたことは、登校班や縦割り班による清掃と活動、大休憩のふれあいなどからの良い成果と感じました。

人間万事塞翁が馬（ニンゲンバンジサイオウガウマ）

私がこの故事を知ったのが、中学生の時でした。「おもしろいな。」と感じ、「他にもどんな故事があるのだろう。」と、興味を持って調べたことを思い出します。



本校では、テレビ放送システムの故障により、昨年度途中から校内テレビ放映ができなくなっています（市教育委員会へ報告すみですが、復旧の見通しはありません）。

校内テレビ放送で大きな役割を果たしていたのが、「先生による読書紹介」です。実物の本を提示することもできますし、次の紹介者の先生を決める方法（ボックスの中のボールをとりだし、ボールに書かれた先生が次の出番となります。）もテレビならではのものでした。

今年は、テレビなしの読書紹介を余儀なくされ、放送のみでスタートとなりましたが、これが思わぬ効果があることを感じました。

紹介する側は、映像で訴えられない分、よく伝わるように話したり、興味をひくために、ちょっとクイズ的にしたり、さらには「紹介した本を読んだことのある人は、校長先生に教えてください。」「次の先生が誰だか分かった人は５年１組まで来てください。」という投げかけをしたりしました。テレビがなくてさらに関心を高めることにつながったような気がしています。

明日は授業参観日です。

授業中の様子や子ども達の作品に、お子さんののびを見つけてください。



「ぼくも同じ本を読みました。」と、一番最初に来室した2年生。入室のあいさつもすばらしく、もちろんその後の学校生活も、いつもより格段上の生活学習の様子だったそうです。「ほめること」の大事さを感じました。



【「２日連続のお弁当の日」そのわけは？】

「どうして６月はお弁当の日が多いの？」「しかも木金と２日連続！」　そのわけは、陸上大会の実施と延期の対応のためなのです。そのため、市内小学校の多くが木金は、連続お弁当となります。



【校長のひとりごと】

「いつも僕たちを見守っていただきありがとうございます。」

朝の登校時間に、瀬尾薬局で交通見守りをしていただいている学校評議員の吉村様から、本校の子どもから声をかけられたことを伝えていただきました。吉村様は驚いた以上に大変嬉しくなったことをお話ししてくださいました。

さっそく全校集会で、「校長先生が嬉しかったこと」ということで、子ども達に伝えました。この言葉を吉村様に伝えた子は、見守っていただいているありがとうの思いを、集団登校の時は言えないけど、自分の言葉で伝えたかったのだろうと思います。平一小の子ども達に、このような良い言動が広がっていくことを願って。